

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2024 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告および展示物に関する規定、本大会申合せ事項により実施する。

2. 招集について

(1)招集所は、100m スタート地点（第4ゲート付近、室内練習場内）に設ける。

(2)招集開始および完了時刻は競技時刻を基準とし下記の通りとする。

種目	予選		準決勝		決勝	
	開始	終了	開始	終了	開始	終了
トラック	30 分前	20 分前	30 分前	20 分前	30 分前	20 分前
フィールド					60 分前	50 分前
フィールド(棒高跳)					70 分前	60 分前
混成競技					30 分前	20 分前

④混成競技については、第1日および第2日の最初の競技種目について上記時刻に招集所で招集を行う。それ以降は、現地招集とする。

(3)招集完了時刻5分前には招集所で待機し、出場者本人が最終チェックを受ける。その際、登録ナンバー、スパイク、衣類、持ち物等の点検を受ける。その後指示に従い競技場内へ入ること。棒高跳に限り各自で入場し、招集完了時刻に競技場所で最終チェックを受ける。

(4)招集完了時刻に遅れたものは、棄権とみなし処理をする。

(5)2 種目以上同時刻に兼ねて出場する場合は、招集開始時刻までに「2 種目同時出場届」を招集所で受け取り、競技者係に提出すること。

(6)リレーのオーダー用紙は、招集所で受け取り、ラウンドごとに招集完了時刻の1時間前までに所定の用紙に記入し、競技者係に2部提出すること。

(7)トラック競技において腰ナンバー標識を着用するので、腰ナンバー標識を招集の際に受け取る。競技終了後、フィニッシュ地点で係員に返却する。

(8)携帯電話等の電子機器類は、競技場内に持ち込めない。

(9)競技者の入退場は係員の指示に従う。

(10)学連登録時の氏名と番号がプログラム上のそれと異なり、主催者側に過失が認められない場合は、競技に出場できないことがある。

3. 棄権について

(1)棄権については、大会の権威と運営の円滑化のため極力避けること。

(2)やむを得ず棄権する場合は、棄権届（大会受付及び招集所に用意）に監督がサインをし、招集開始時刻までに競技者係に提出すること。

(3)無断で棄権した場合、その競技者は以降の出場を認めない。

4. 競技について

- (1)トラック種目予選の走路順、フィールド種目の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2)トラック種目準決勝・決勝の組合せ・レーン順については主催者が公平に抽選し決定する。トラック競技のプラス出場者において同タイムが出た場合、以下の方法で選出する。
 - ①800m以下およびリレー競技での同タイムの競技者は、レーンに余裕があれば次のラウンドに進出できる。レーンに余裕の無い場合は判定写真を拡大し着差判定を行う。それでも着差がつかない場合は該当競技者または代理人によって抽選をする。
 - ②1500mについては、同タイムの競技者は全て次のラウンドに進出できる。
- (3)登録ナンバーは本年度登録番号のものを使用し、胸および背中に確実につけること。ただし、跳躍競技に関しては、胸または背中 of いずれか1枚つけるだけでも良い。
- (4)トラック競技出場者は腰ナンバーを使用する。腰ナンバーは招集の際に受け取ること。
- (5)予選において棄権者が多く9名以下になった場合、予選を取りやめ決勝の時刻に決勝レースを行う。
- (6)男女5000m、男子10000m、3000mSCはタイムレースで行う。
- (7)5000m、10000m、10000mWでは必要に応じてバックストレートに給水所を設ける。
- (8)競技者が使用するマーカー(4×100mR、跳躍競技、投てき競技)は主催者が用意したものを、それ以外のもは使用できない。4×100mR、投てき競技ではマークを1か所に置くことができる。跳躍競技、やり投では助走路外側にマークを2か所まで置くことができる。
- (9)女子三段跳の踏切板は砂場から9mの位置に設置する。男子三段跳の踏切板は砂場から13mか11mのどちらかで競技をするのか競技開始前に協議して決定する。
- (10)リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本大会に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち少なくとも2名はリレーに申し込んだ競技者出なければならない。最初のラウンドに出場したメンバーのうち2名以内に限り、その後のラウンドで他の競技者と交代することができる。
- (11)練習用としても検定を受けていない個人の用器具を競技中の競技場内に持ち込んではいない。
- (12)スパイクのピンは9mm以下、やり投・走高跳については12mm以下のものを使用すること。いずれの場合も本数は11本以内とする。また、スパイクの先端近くで長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (13)抗議は、競技結果の発表後30分以内に、次のラウンドが行われる場合は15分以内に本人または監督から総務員を通じて審判長に対し口頭で申し入れる。
- (14)競技者に対する助力について、違反する行為があった場合には、審判長が警告を行う。助力が繰り返される場合には、当該競技者を失格にすることができる。

5. 競技用靴に関する規定について

- (1)靴底の厚さは、800m未満のトラック種目（ハードル含む）は20mm以内、800m以上のトラック種目は25mm以内とする。また、三段跳を除くすべてのフィールド種目は20mm以内、三段跳は25mm以内とする。
- (2)競技者はWA承認シューズリストのシューズを着用していることを前提とし、招集所や競技者受付などで競技者全員のシューズチェックは行わない。ただし、審判長の権限により、いつでもシューズチェックをすることができる。その場合、競技者はその指示に従わなければならない。

- (3)明らかに規定違反のシューズや疑義のあるシューズは、チェックや回収の対象になることがある。
万が一、レース後に違反が認められた場合には、失格となり記録が取り消される場合がある。

6. 走高跳、棒高跳について

- (1)走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の表の通りとする。

男子走高跳	練習 1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	以降 1 人残るまで 3cm 刻み
女子走高跳	練習 1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以降 1 人残るまで 3cm 刻み
男子棒高跳	練習 3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	以降 1 人残るまで 10cm 刻み
女子棒高跳	練習 2m00	2m20	2m40	2m60	2m80		以降 1 人残るまで 10cm 刻み

- ⑧男子走高跳は登録記録で均等に 2 ピットに分け、同じ高さから始める。2 ピット間でできる限り、同じ高さで進行するようにする。

- (2)混成競技における走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の表の通りとする。

男子走高跳	練習 1m45	1 回目の高さを 1m50 とし、以降 1 人残るまで 3cm 刻み
女子走高跳	練習 1m25	1 回目の高さを 1m30 とし、以降 1 人残るまで 3cm 刻み
男子棒高跳	練習 2m40	1 回目の高さを 2m60 とし、以降 1 人残るまで 20cm 刻み

- ⑨ただし、天候等の事情や参加選手の要望により、審判長の判断で変更する場合がある。

- ⑩混成男子走高跳、棒高跳は競技開始前に記録を申告してもらい、上位と下位の 2 ピットに分けて実施する。原則として、両ピットともに練習高さは上記通りに揃えるが、進行についてはそれぞれのピットに任せる。なお、2 ピット間に著しい記録差があり、練習の高さが不適切である場合には、上位記録のピットにおいて選手の了承を得た上で変更してもよい。

- (3)棒高跳の支柱移動については競技開始前に跳躍上で競技役員に申し出ること。

- (4)第 1 位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳で 2cm、棒高跳で 5cm とする。

7. 表彰・成績について

- (1)各種目 3 位までに入賞した者に対し、表彰式で賞状とメダルを授与する。競技後直ちに正面玄関ロビーに集合すること。受賞者は原則各校の競技用ユニフォームを着用とする。また 8 位までの入賞者には賞状を授与する。賞状は正面玄関ロビーの表彰者待機場所付近に用意する。

- (2)各種目得点は 1 位 8 点、2 位 7 点以下 6 点、5 点、4 点、3 点、2 点、1 点とする。同順位が複数(n) 生じた場合は順位点の合計を n で除した得点とする。

- (3)学校対抗得点で男女とも総合 1 位の学校に優勝杯を、3 位までの学校に賞状を授与する。また、トラック、フィールド部門で男女とも得点 3 位までの学校に賞状を授与する。

- (4)男子最優秀選手またはリレーチームに菅沼賞を、女子最優秀選手またはリレーチームに川村賞を授与する。

- (5)本競技会は、ワールドランキングに対応した競技会である。

8. 用器具について

用器具は、棒高跳、やり投を除き主催者が用意したものを使用すること。やりの検定は、競技開始 90 分前に第 1 ゲート付近の器具庫前 (100m ゴール付近) において検査を受け、合格したものに限り使

用することができる（ただし、合格したやりは、全競技者が使用できるものとする）。なお、今大会はWA承認品しか取り扱うことができないため、事前に確認すること。

9. その他

- (1)主催者は競技者の負傷・疾病については応急措置以外の責任を負わない。それ以上の対応については各校で行い、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2)メインスタンドでの部旗・横断幕・のぼりの掲示は禁止とし、サイドスタンドやバックスタンドに掲示すること。ガムテープを使っての掲示やロープ類を使っての場所取りも禁止とする。メインスタンドおよびスタンド裏においては通行の妨げにならないよう場所取りには配慮をすること。
- (3)テント設営は、補助競技場（外周芝生エリア）、サイドスタンド、バックスタンド、松林内に設営し、それ以外の場所には設営しないこと。
- (4)競技場内へは出場する選手および補助員以外は立ち入らないこと。
- (5)招集所以降競技エリアには、ビデオ・携帯電話等の電子通信機器、電子音声機器を持ち込むことは禁止されている。
- (6)競技場内で着用あるいは持ち込む衣類・バックなどは「競技会における広告および展示物に関する規程」に従い、ロゴ等は所定の大きさまでのものしか認められない。
- (7)競技場内および補助競技場等公園内の美化には注意し、ゴミは各校で持ち帰ること。
- (8)更衣室はメインスタンド下にある。荷物・貴重品等は各自の責任で管理し盗難には注意すること。放置などによる盗難・紛失などがあった場合、主催者側は関与できないので注意すること。
- (9)競技結果・番組編成については競技場正面の記録表示場所に掲示する。

競技場開場および閉場時刻

第1日 5月10日(金) 開場：7:30 閉場：19:30

第2日 5月11日(土) 開場：7:00 閉場：19:30

第3日 5月12日(日) 開場：7:00 閉場：17:30

練習会場・時間

	5月9日(木)	5月10日(金)	5月11日(土)	5月12日(日)
本競技場	使用禁止	7:30~10:30 トラック競技 跳躍競技 7:30~10:30 砲丸投 ハンマー投(ターン練習のみ)	7:00~8:30 トラック競技 跳躍競技 7:00~8:30 砲丸投 やり投 円盤投(ターン練習のみ)	7:00~8:00 トラック競技 跳躍競技 7:00~8:00 砲丸投 やり投
補助競技場	14:00~16:30 トラック競技 跳躍競技 砲丸投	7:30~18:30 トラック競技 跳躍競技 砲丸投	7:00~18:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投	7:00~16:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投
室内練習場	使用禁止	使用禁止 ※悪天候時のみ 7:30~18:30	使用禁止 ※悪天候時のみ 7:00~18:00	使用禁止 ※悪天候時のみ 7:00~16:00

注意事項

- ・室内練習場は、招集所を設置するため使用禁止とするが、悪天候の場合のみ開放する。
- ・各練習会場では安全のため逆走、チューブ・牽引ロープ等の用具を使った練習は禁止とする。
- ・練習の際には安全面に注意し、競技役員の指示に従うこと。